2026年11月10日

各　　位

東京都港区虎ノ門四丁目１番 28 号
日本通信株式会社
代表取締役社長兼ＣＥＯ　福田　尚久
（コード番号：9424）
問合せ先　執行役員ＣＦＯ　小平　充
電話 03-5776-1700

日本通信、FPoSの属性認証機能を開発者向けに提供開始
― 本人性と属性・権限の有効性を一体的に確認―

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、本日、FPoS（エフポス：Fintech Platform over Security module）の属性認証機能を、API及びSDKとして開発者向けに提供開始します。これにより、教育、医療、企業、施設管理、交通、ECなど、さまざまな分野の開発者やサービス事業者が、本人性と属性・権限の有効性を一体的に確認する仕組みを、自社のサービスやアプリケーションに組み込むことが可能になります。

当社が長年にわたり開発・運用してきたFPoSは、厳格な身元確認を基盤に、当人認証、電子署名及びデータ連携などの機能を提供してきました。今回の属性認証は、本人の所属、資格、会員資格、他者やモノとの関係性、各種権限などを電子的に証明するものです。これにより、従来の「Who you are（あなたは誰か）」という本人の証明から、「What you are（あなたは何者か）」という属性の証明へと領域を広げ、「今、その人に何が許されているか」という権限判断を支えます。

近年、VC（Verifiable Credentials：検証可能なデジタル証明書）など、所属や資格を電子的に証明する技術が広がっています。こうした技術を通じて属性情報を安心して利用するには、証明書の発行元や改ざんの有無に加え、その属性が誰に紐づき、現在も有効であるかを信頼できる形で確認することが重要です。

FPoSでは、厳格な本人認証と属性情報を結び付けるとともに、企業、大学、自治体など属性情報を管理する組織と連携し、属性の登録、証明書の発行、更新・失効、検証までを一体的に支援します。退職、卒業、資格の失効などによる変更を反映し、必要に応じて最新の有効性を確認できます。

マイナンバーカードに搭載されている電子証明書は国際標準規格である X.509 に準拠しており、当社が電子署名法に基づく認定認証業務において発行する電子証明書も X.509 に準拠しています。今回の属性証明書についてもX.509形式を採用し、国際標準に準拠した信頼性の高い仕組みの構築を目指しています。なお、X.509形式の属性証明書（Attribute Certificate：AC）を基にVC形式で発行することも制度的かつ技術的に可能であり、将来的には事業者のニーズに応じた対応も視野にいれています。

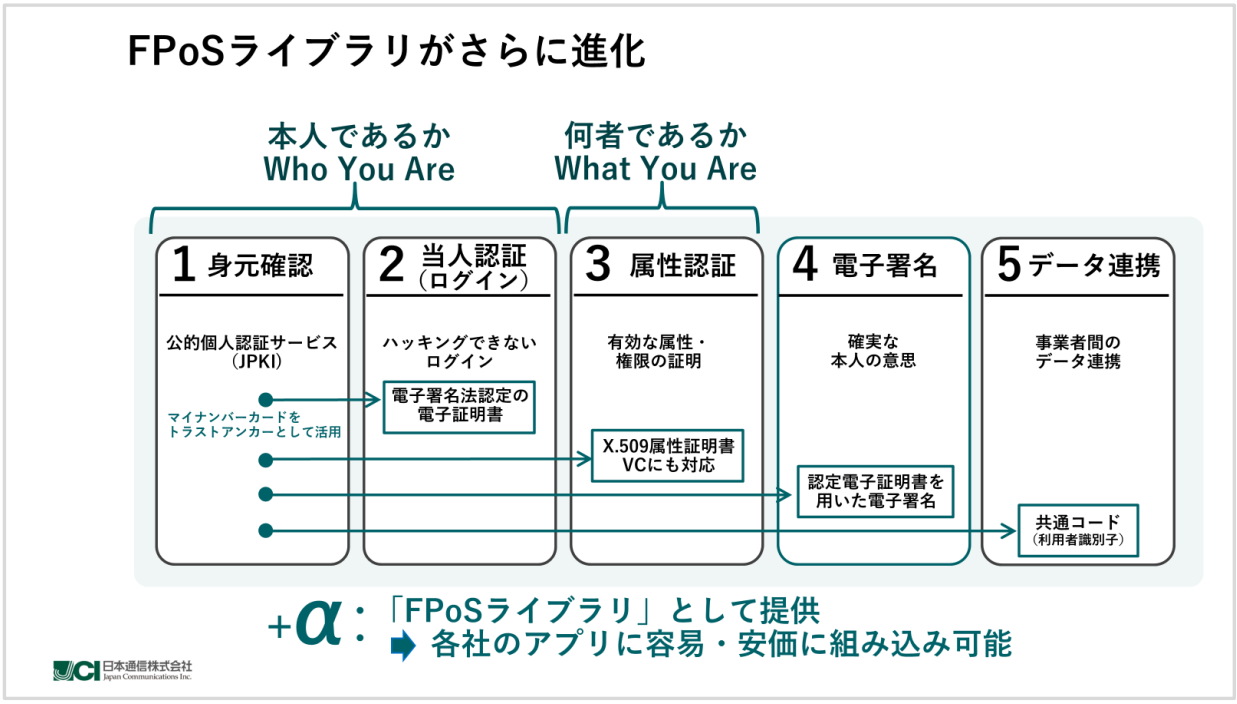
また、属性情報を保有・管理する組織がその内容を確認・管理する一方、FPoS は属性値そのものを参照せずにデジタル証明書へ署名する仕組みを採用しています。属性情報の管理と署名を分離することで、不要な個人情報の共有を抑えながら、証明書の信頼性を支えます。

「誰であるか」と「何者であるか」を同じ信頼の基盤で結び付け、今、その人に何が許されているかを確認する。これが FPoS の属性認証です。

例えば、大学では在籍中の学生であることを、資格が必要なサービスでは資格の有効性を、施設では入場権限を確認できます。こうした場面で必要なのは、多くの個人情報を取得することではなく、サービスの利用に必要な事実を信頼できる形で確認することです。

なお、当社は、保証レベルの異なる公的・民間の電子証明書をひとつのデジタル ID で束ね、使い分けることで、法令準拠とプライバシー保護を両立する電子認証技術についても特許を取得しています（2026 年 10 月 30 日付け公表資料をご参照ください）。

当社は、これからのデジタル社会では、「個人情報を集める社会」から「必要な属性だけを証明する社会」への転換が進むと考えています。必要な情報だけを開示し、不要な情報は持たない。信頼は、データの量ではなく、証明の質で決まります。



■当社代表取締役社長兼 CEO 福田尚久のコメント

「当社が属性認証を開発者に提供するのは、私たち自身がまだ想像していない、新しいサービスを生み出しても

らうためです。そして、私たちが属性認証の先に見据えているのが、AI エージェントの時代です。人、組織、機器、AI が互いに関わり合う社会では、『誰なのか』『何者なのか』『何を許されているか』を共通の信頼のもとで確認できることが重要になります。私たちは FPoS をデジタル社会を支える『Trust Layer（信頼の共通層）』へと進化させていきます。属性認証は、その第一歩です。」

■日本通信について

日本通信株式会社は、1996 年の創業以来、通信業界に革新をもたらし、MVNO 市場を切り拓いてきたパイオニアです。シンプルで合理的なモバイル通信サービスを中心に事業を展開し、安定した収益モデルを確立しつつ、さらなる成長を目指しています。特許技術を活用した無線専用線「閉域 SIM 間通信」やデジタル認証技術「FPoS」を強みとし、認証技術をコアにモバイル通信サービス及びデジタル認証基盤の提供にも注力しています。国際セキュリティ基準 PCI DSS 認定を取得したモバイル専用線は警察や銀行などの厳しい分野で採用。FPoS は世界最高水準のセキュリティと利便性を両立しています。「安全・安心にビットを運ぶ」というミッションのもと、国境を越えた安全なモバイル環境の社会インフラ構築を目指し、持続可能な成長と企業価値の向上に取り組んでいます。